

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	情報リテラシー I	配当学年	1
講義名 (コード)	情報リテラシー I 通信基礎 (DB)	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス学科	時間数	30
対象コース	デジタルビジネスコース	講義期間	春学期
専攻		履修区分	必修
授業担当者	伊藤行正、南陽、奥村幸彦	授業形態	講義
成績評価教員	居山 由彦	実務者教員	実務者
実務者教員特記欄	本講義は、実務家教員による授業である。		

2. 本授業科目の概要	
目的 (位置づけ)	インターネットを含む通信技術の基礎を学ぶ
到達目標	インターネットを含む通信技術の基礎について理解する。
全体の内容と概要	通信技術の基礎と最新世代5Gの主要技術、及びさらなる進化について講義する。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

#### 4. 本授業科目の授業計画

回	日程	講師	授業内容
1	4/14	伊藤 行正	通信の基礎、アナログ電話、デジタルとは、符号化とは
2	4/21	伊藤 行正	交換と伝送、光通信、無線通信、変調とは
3	4/28	伊藤 行正	データ通信、インターネット、通信プロトコル、IP通信
4	5/12	南 陽	コンピュータの歴史 メインフレームからPC,スマホ
5	5/19	南 陽	PCの構造 OS,メモリ、CPU、インターフェース、クラウド
6	5/26	南 陽	インターネットプロトコル概説
7	6/2	南 陽	インターネットビジネスの実際（対談形式）
8	6/9	伊藤、南	LAN、TCP/IP, Layer2/3/3プロトコル
9	6/16	南 陽	アドレスとルーティング、ドメイン名
10	6/23	南 陽	サーバ、Web, SNS
11	6/30	奥村 幸彦	移动通信システムの概要と基礎 セルラー/LPWA/無線LAN/移動衛星、無線アクセス方式
12	7/7	奥村 幸彦	移动通信システムの進化(1) 1G/2G(PDC)/3G(W-CDMA)/3.4G(HSPA),フィーチャーフォン
13	7/14	奥村 幸彦	移动通信システムの進化(2) 3.9G(LTE)/4G(LTE-Advanced),フィーチャーフォン
14	7/21	奥村 幸彦	最新世代5Gの主要技術とさらなる進化 5G/ローカル5G/5G evolution/6G
15	7/28	伊藤・奥村	携帯電話・移动通信の将来（対談形式）

#### 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	徹底図解 通信のしくみ 改訂版（新星出版社） 基本からわかる 情報通信ネットワーク講義ノート（オーム社）
参考文献・資料等	通信情報技術はどのように発達してきたのか（ペレ出版）
備考	